

武田 誠一

新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科 准教授

居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員の役割に関する研究

本研究では、特定事業所加算Ⅰ・Ⅱを算定する居宅介護支援事業所に勤務する主任介護支援専門員の抱える課題を明らかにし、必要となる研修について考察した。

まず、居宅介護支援事業所に勤務する主任介護支援専門員の役割を「事業所内での役割」「事業所外（地域）での役割」に分類しその重要度とその役割の実現度を調査した。調査対象は、特定事業所加算を算定する居宅介護支援事業所（210ヶ所）の主任介護支援専門員、居宅介護支援事業所の管理者、介護支援専門員とした。

結果、「事業所内での役割」では、「困難事例への対応」は重要度、実現度いずれも3者の評価は高く、主任介護支援専門員が事業所内でその役割を果たしていることが伺えた、しかし「事業所外（地域）での役割」として「地域の社会資源開発」については、重要度は高いが、実現度は主任介護支援専門員、管理者、介護支援専門員、全員の評価は低かった。

結論、主任介護支援専門員として、十分に機能していないところもあるが、主任介護支援専門員の力量形成には継続した研修が欠かせず、地域内、事業所間などでの日頃の研修などの支援が必要である。